



東白川村教育大綱

平成28年4月 策定
東 白 川 村

東白川村教育大綱^{※1}

私達は、村民の総意と共通の指針として“村民の誓い”を制定し、明るい家庭、和やかな地域、住みよい村づくりを進めています。

そして、第五次総合計画において村の将来像を「豊かな自然と美しい景観に包まれて、人がかがやく地域力のあるむら、ひがししらかわ」とし、人々が生き生きと暮らし、ここに住んで良かったと思える村づくりを推進しています。

この村づくりにおいて、教育の果たす役割には大きなものがあります。子ども達は村の宝であり、元気な育ちの場と確かな学びの場が必要です。人々の楽しい学習・文化・スポーツ活動が豊かな人生と地域の連帯感を築きます。

教育は、人づくりであり村づくりであるとの認識のもと、村の教育を総意をもって力強く推進するための基本理念と、それを具現化するための基本指針を示します。

平成28年4月策定 東白川村

※1) 大綱=ある事柄の根本となるもの。おおもと

■ 基本理念^{※2}

元気な育ちと学びの場・楽しい生涯学習活動を
創出する東白川村教育の推進

※2) 理念=ある物事についての「こうあるべきだ」という根本の考え

■ 基本指針^{※3}

※3) 指針=参考となる基本的な方針

① 全ての基礎となる家庭教育の推進

子育ては、人の一生で最も崇高で最も楽しく最も重要な事柄です。

そして家庭は、生まれ、育ち、人生を歩むことの原点です。

子どもは、親や家族の後ろ姿を見ながら成長していきます。

明るい家庭づくりと、子育てに対する親の姿勢が、何よりも大切であることを、あらゆる機会を通じて働きかけていきます。

② しっかり寄り添うことを基調とした子育て支援の推進

乳幼児期は親が愛情をもって寄り添うことが特に大切です。

この時期に安心と信頼の基礎が育まれます。

親の交流と学習の場を提供し、子育ての初期を支援します。

一貫した子育て支援補助制度を設け、保護者の経済的な負担を軽減するとともに、子ども達の進学や進路の夢をサポートします。

③ 人間性、集団生活、躰の基礎を育む保育の推進

個性を尊重しながら、優しい心を育む時期です。

仲間遊びや集団活動を通して、社会性や基本的なルールを養う時期です。

基本的な生活習慣を確立し、小学校生活に向かう時期です。

これら幼児期の重要性を認識し、全ての基礎を育むために質の高い保育を推進します。

④ しっかり学びしっかり育つ小中学校教育の推進

学習規律と学習習慣の徹底を図り、確かな学力を定着させる時期です。

思いやりと温かい気持ちを大切にし、豊かな心を育む時期です。

運動や部活動を通して、健やかな身体を養う時期です。

これら小中学校期の重要性を認識し、生きる力を確かに育むために、鍛え伸びる学校教育を推進します。

伝統と特色を明確にするとともに、郷土への誇りと愛着を育むふるさと教育を推進します。

⑤ 人々が輝く楽しい社会教育の推進

仲間とともに楽しく学び続けることは、人生を豊かにしてくれます。

伝統文化の継承や香り高い文化に触れることは、人生を深めてくれます。

スポーツやレクリエーションに親しむことは、人生を元気にしてくれます。

人々の生き生きとした生涯のために、楽しい学習・文化・スポーツ活動を推進します。

⑥ 村ぐるみの青少年健全育成の推進

子ども達は、地域や仲間との関わりの中で成長していきます。

子ども達は、メディアや情報機器などの影響を受けて成長していきます。

子ども達は、社会の様々な恩恵と反面には様々な危険性の中に居ます。

明るい家庭と健全な地域社会を基本とした、村ぐるみの青少年健全育成を推進します。